

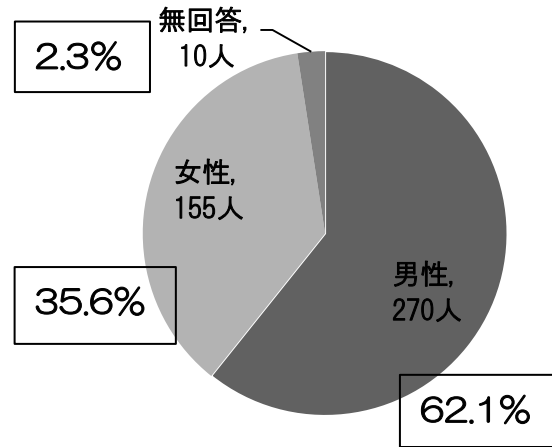
浄水地域のまちづくりを考えるアンケート調査（結果）

回答数： 435 / 1000通 回答率： 43.5%

■あなた自身(回答者)のことについてお聞きします。

問1 性別

- ① 男性 ② 女性 ③ その他



【参考】

H29年度

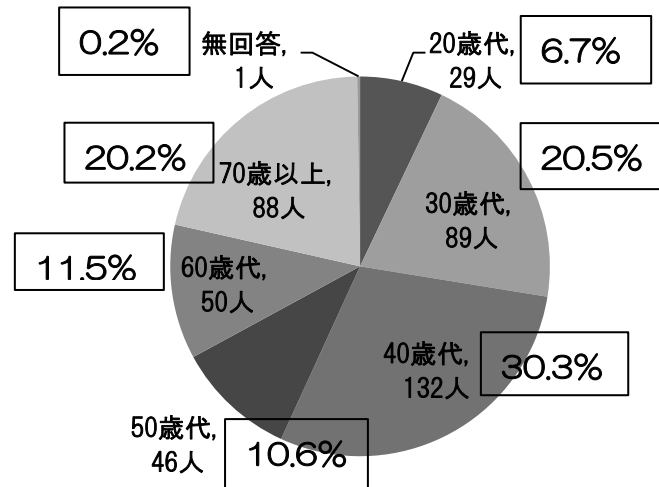
513件 / 1000件 (回答率51.3%)

H30年度

418 / 1000件 (回答率41.8%)

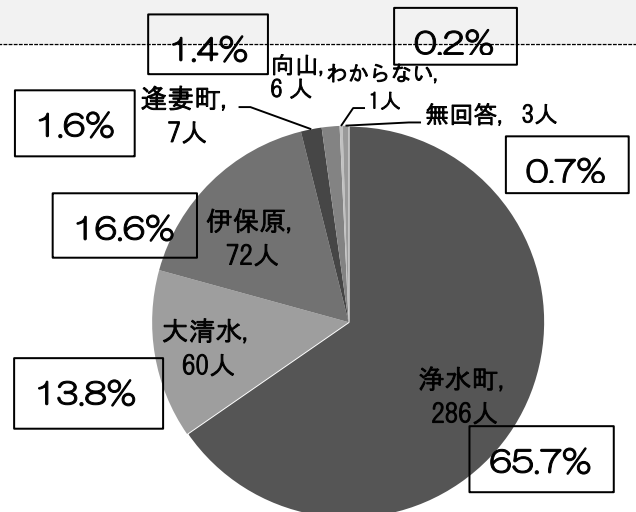
問2 年齢

- ① 20歳代 ② 30歳代
 ③ 40歳代 ④ 50歳代
 ⑤ 60歳代 ⑥ 70歳以上



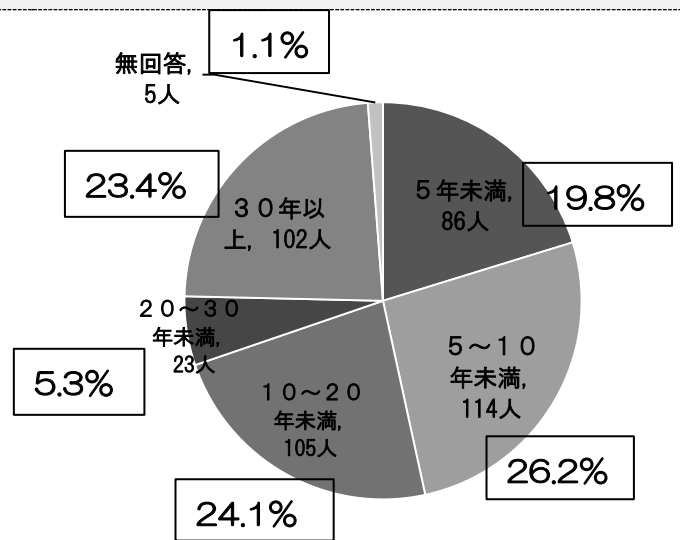
問3 お住まいの自治区

- ① 浄水町 ② 大清水
 ③ 伊保原 ④ 逢妻町
 ⑤ 向山 ⑥ わからない



問4 浄水地域に住んで何年になりますか

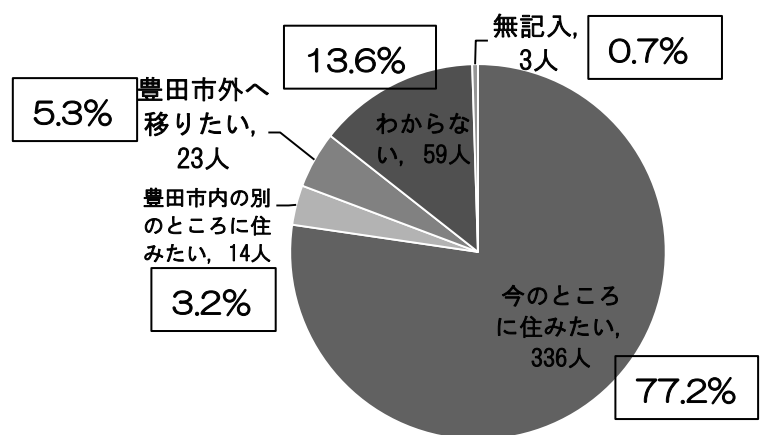
- ① 5年未満
- ② 5～10年未満
- ③ 10～20年未満
- ④ 20～30年未満
- ⑤ 30年以上



■地域活動についてお聞きします。

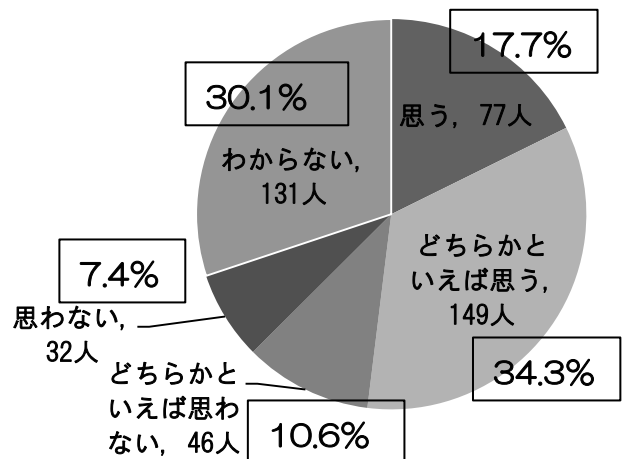
問5 あなたは、今住んでいるところに、これからも長く住みたいと思いますか。(○は一つ)

- ① 今のところに住みたい
- ② 豊田市内の別のところに住みたい
- ③ 豊田市外へ移りたい
- ④ わからない



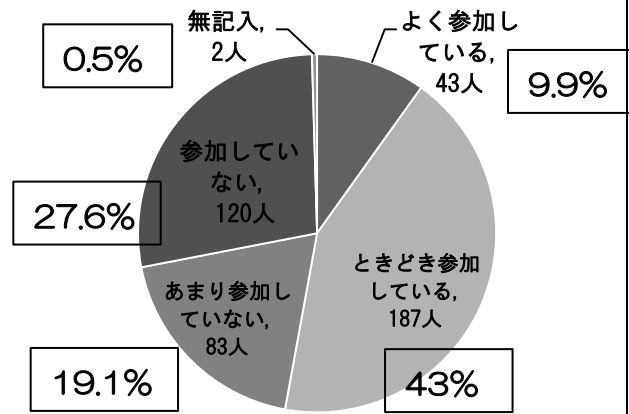
問6 あなたは、浄水地域が住民参加型でのまちづくりを進められていると思いますか。(○は一つ)

- ① 思う
- ② どちらかといえば思う
- ③ どちらかといえば思わない
- ④ 思わない
- ⑤ わからない



問7 あなたは、自治区活動や地域の行事など地域の活動に参加していますか。(〇は一つ)

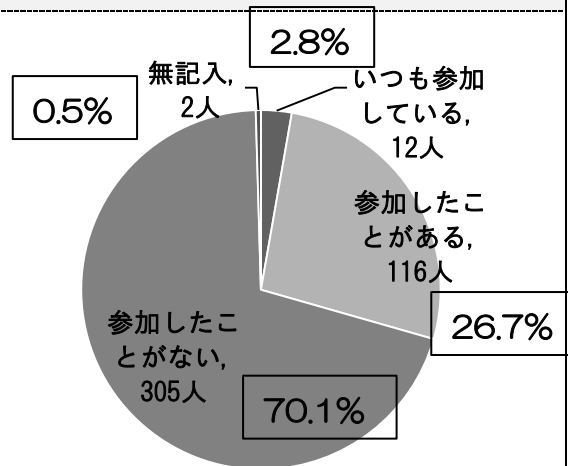
- ① よく参加している
- ② ときどき参加している
- ③ あまり参加していない
- ④ 参加していない



■防災についてお聞きます。

問8 あなたは、地域や自治区で実施している防災訓練に参加していますか。(〇は一つ)

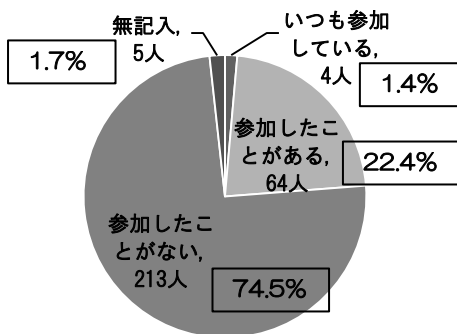
- ① いつも参加している
- ② 参加したことがある
- ③ 参加したことがない



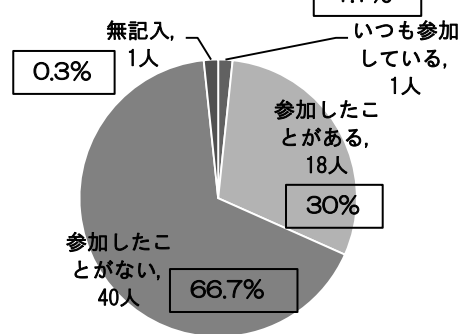
指標 防災訓練に参加したことがない人の割合

H29調査 ③=約62.5%
 H30調査 ③=約65.3%
 今回調査 ③=約70.1%
 →増加

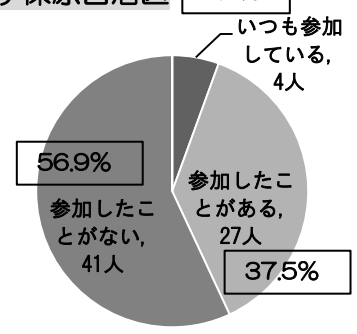
浄水町自治区



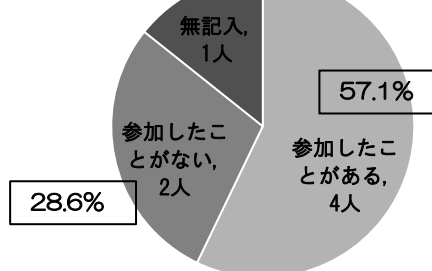
大清水自治区



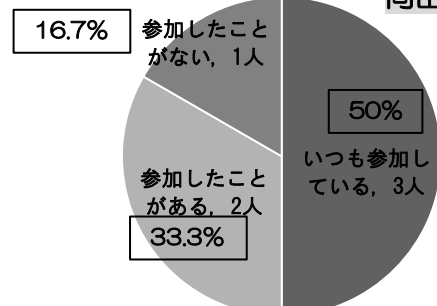
伊保原自治区



逢妻町自治区

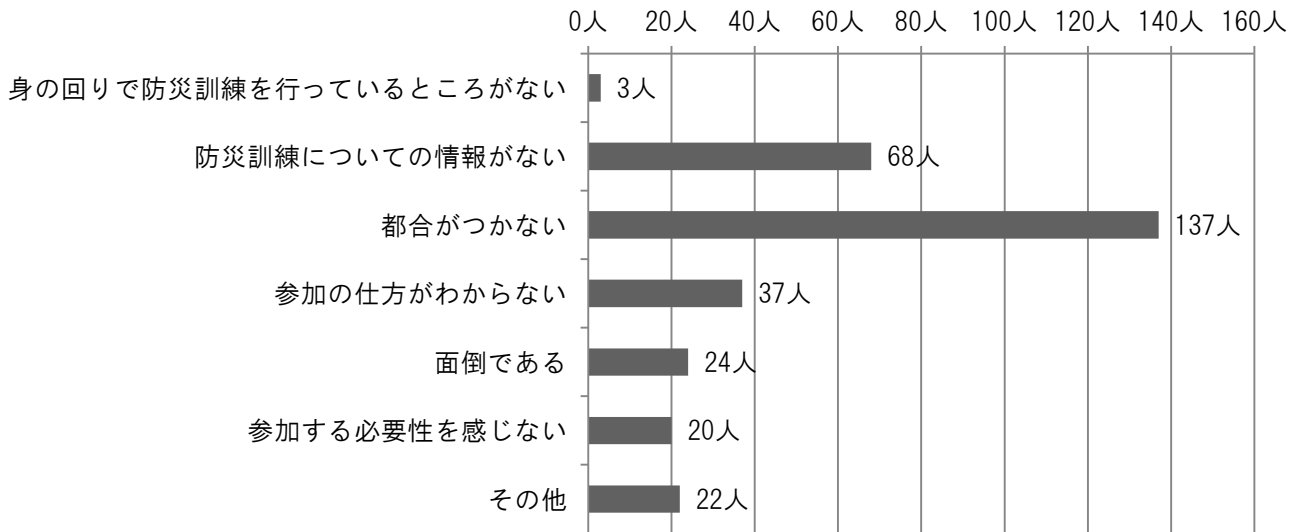


向山自治区



問9 前問で③とお答えの方にお聞きします。参加したことがない理由は何ですか。(○は一つ)

- ① 身の回りで防災訓練を行っているところがない ② 防災訓練についての情報がない
 ③ 都合がつかない ④ 参加の仕方がわからない
 ⑤ 面倒である ⑥ 参加する必要性を感じない ⑦ その他 ()

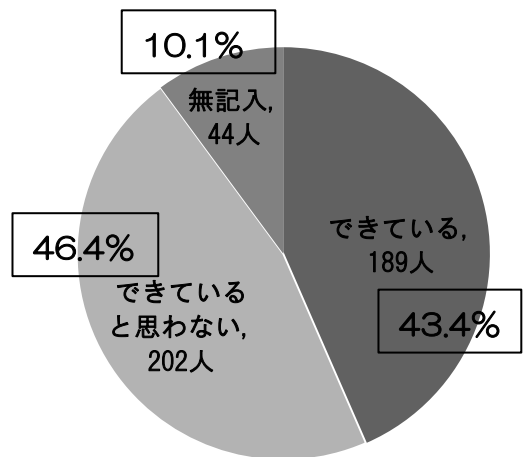


問10 あなたは災害の時に「共助」ができそうな関係づくりができていますか。

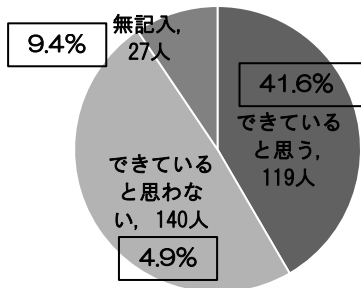
- ① できていると思う
 ② できていると思わない

「共助」の関係

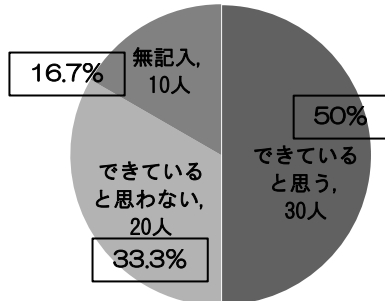
H29調査 ①できている=52%
 H30調査 ①できている=48.1%
 今回調査 ①できている=43.4%
 →減少



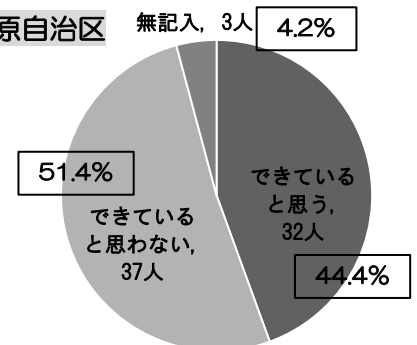
浄水町自治区



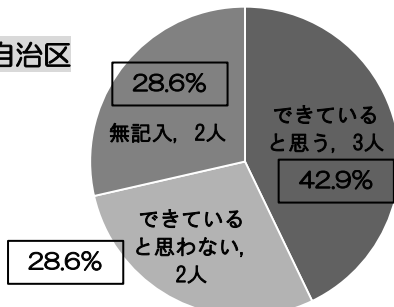
大清水自治区



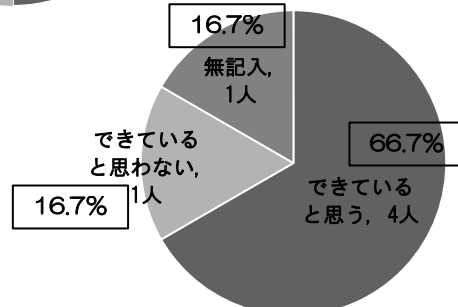
伊保原自治区



逢妻町自治区



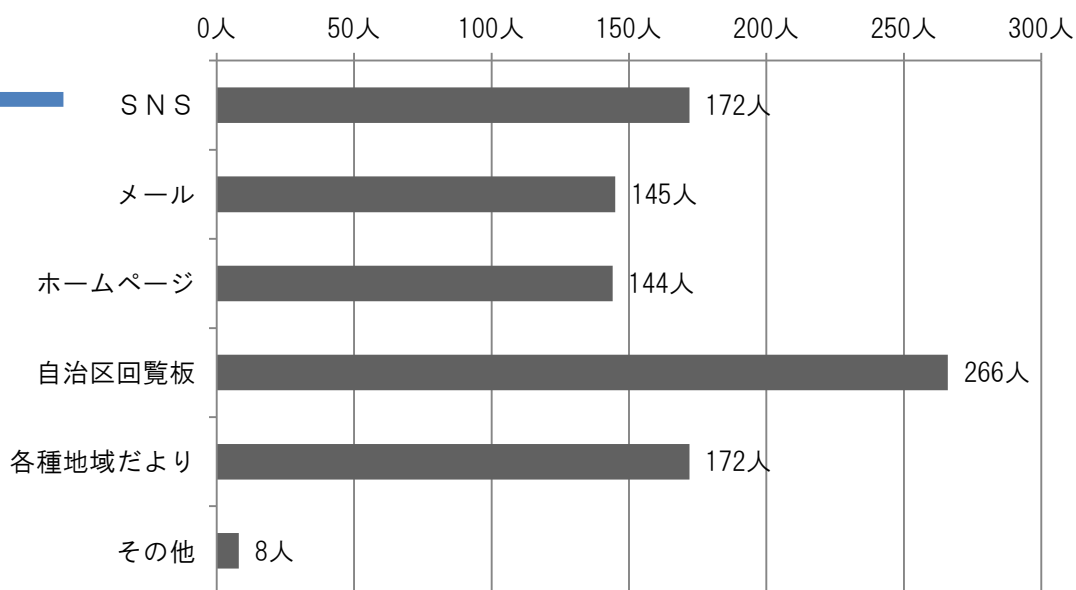
向山自治区



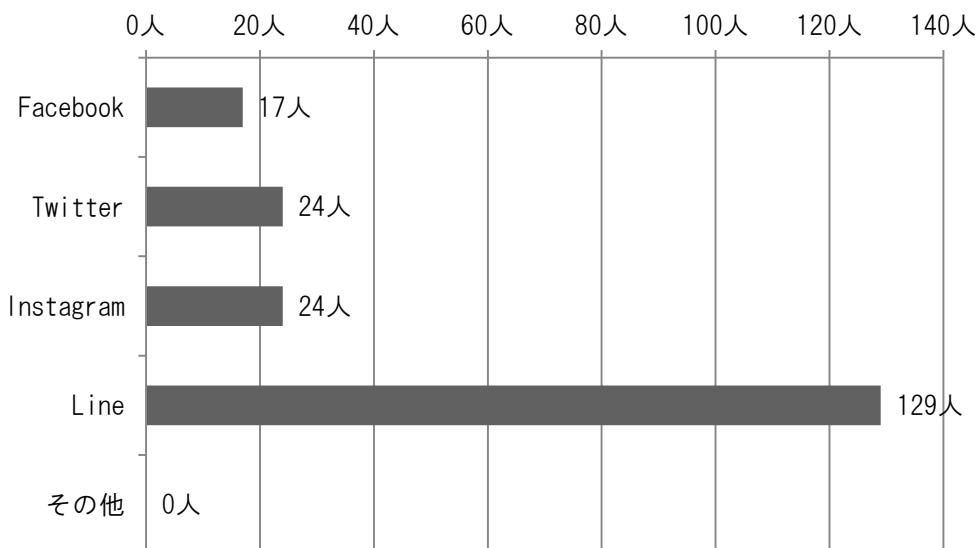
■多世代交流事業について

問11 地域に関する情報は、どの媒体で得たいと思いますか？（3つまで選択）

① SNS ② メール ③ホームページ ④自治区回覧板 ⑤各種地域だより ⑥その他



② SNSについて（具体的な媒体は？ Facebook Twitter Instagram LINE その他）



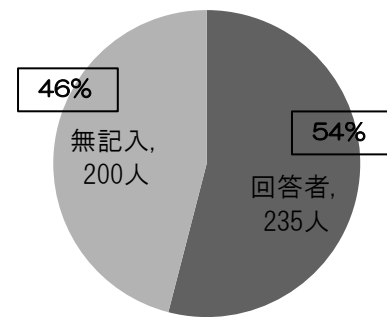
【多くあった意見】

- ・回覧などの紙媒体は、イベント情報などが過ぎていることがある（＝素早さに欠ける）
- ・SNSはタイムリーだが、高齢者等には疎外感を与えてしまう。
- ・高齢者と若い世代では、情報を得る方法が違ってくる。

問12 浄水地域に関して、具体的にどのような情報が欲しいですか？【抜粋】

- ・老人ホーム入居待状況、公的介護施設の紹介。
- ・高齢者に関する様々な情報を細かく分かりやすく回覧してほしい。
- ・車のない人や、免許のない人の公的移動手段。バスの時刻表。
- ・地域行事、イベントの案内。
(2・3か月前と1か月前の2回は情報を流してもらえると、忘れすぎてしまうことがないかな。)
- ・イベント結果報告。イベントの画像をアップしてほしい。
- ・たくさんの方が参加できるイベント情報もありますが、もっと少人数で気軽に参加できるイベントの情報が、SNSなどで細かく(イベントの対象となる年代や層の人に。)お知らせしてもらえると嬉しい。
- ・自分の自治区の情報が入るが、他の自治区の情報欲しい。
(こんなすごい場所がある、人がいる、スーパーキッズがいる、美しい場所、便利なところ、癒しの場 etc.)
- ・学校のイベント情報。
- ・犯罪情報(以前は回覧板に、地域の犯罪情報が町ごと・各種ごとに件数をリスト化していたのが入っていたと思うのですが、最近ない気がします。見落としているのだとしたらすみません…)
- ・災害・犯罪情報。未就学児・小、中学生に対しての安全教室。
- ・知能犯罪の手口
- ・不審者情報
- ・交通事故(ヒヤリハット含む)情報、交通安全行事、自転車乗り方教室など
- ・防災について、地域の取り組み・計画。地域の災害ハザード情報。
- ・想定される地震に対して、具体的な情報をシミュレーションして、提示してほしい。個々の家庭の状況、起こる時間帯によっても色々だろうが、例を出して提示してほしい。公園に仮設トイレは設置される準備はあるのか、煮炊きできる準備はあるのか、などなど
- ・防災準備について呼び掛け、アイデア。災害後それぞれの動きを明確に知らせる。前にもどう動いたら良いか知識を入れたい。
- ・回覧板の表紙などに各グループの避難場所を書いていただくと回覧板が回って来る毎に、再確認ができるので、お願いしたいです
- ・交流館で行われる行事。
- ・交流館で直接行って確認しないと得られない情報。
- ・お通夜と告别式の連絡はメールで要件を伝えてもらえるとありがたいです。
- ・赤ちゃんがいるので子育てサークルなどあれば知りたい。
また、0歳児でも遊べる場所、友達づくりの場所など。
- ・気軽の参加できる地域のボランティアやNPO活動を知りたい。
- ・年代別の人口グラフなど。
- ・道路などの新設、工事情報。
- ・新しくオープンする店舗情報。おすすめのお店
- ・健康講座のような予防に関する情報。
- ・子どものスポーツ教室など、身体を動かすことのできる場の情報。
- ・子供達・高齢者を含めて運動・健康教室(夏休みとか早朝にみんなで公園でラジオ体操・太極拳等)
- ・情報よりも具体的に提案できる方法や、機会も必要では?長く住んでいる者は、高齢者が多いので、SNSやメールでは、不親切です。
- ・自治区回覧板は回覧に時間がかかり、必要な情報があってもコピーやスキャンをする必要があり、手間になっています。SNSやWEBのように、情報の保存性が高いものだとありがたいです。回覧も最後の方

だと困ることもあります。
・病院、医療情報
・ゴミステーションがいっぱいのごみのごみの捨てる方法。
・区費の使われ方。町内会での仕事はどんなものがあるのか、どんなことをしているのかを説明してもらえるもの（文書など）があると分かりやすいし、参加したいなと思えるようになると思います。
・地域で自慢、PR出来る事（他の方への紹介出来る為）
・町おこし等新しい取り組み（あれば、もしくはそういった議論）
・今後、急速に空き家が進むと思われまますので、空き家をなくす活動のノウハウ、実際に取り組んでいる事例などの情報があると勉強になると思います。
・空き家の対策…どの様に空き家をなくす事が出来たのか？等の事例。
・役立つ講習会等あれば参加してみたい。（AEDなど）
・習い事一覧
・地域に関することをどこに問い合わせたらいいか分からない。質疑応答のできる場所を知りたい。



◆浄水地域のまちづくりに関して、ご意見ありましたらお書きください。【抜粋】

- ・地域役員の方が（青年会なども）とてもよくがんばって下さっている印象があり、いつも感謝しています。
- ・組長になって色々な行事の準備・片づけに参加して、大変さがよく分かりました。ありがとうございます。
- ・浄水地域会議のメンバーの方々、本当にお疲れ様です。地域が安心安全であることを望んでいます！自分に出来る事を前向きに協力していきたいと思います。宜しく！！

- ・住んでいてもこちらからのアプローチは難しいです。こうしたアンケートなどがあると、意見を伝える機会ができ、大変ありがたいです。
- ・街づくりの方向性を示して、意見を聞く場を設けることが重要。アンケートで聞いても、聞きたい内容しか分からない。

- ・伊保原自治区は超高齢化的な区であるが、若い夫婦が住み着いて活気づいた街でもあります。老若男女が集える行事の推進をお願いしたい。

- ・中学生が道路いっぱい横1列で自転車に乗っているのが、気になります。交通ルールが守れるよう、学校・家庭・地域で見守ってほしいです。
- ・自転車・歩きの人のスマホは止めてほしいです。歩きタバコも止めてほしいです。

- ・駅前や線路沿いの植え込みにゴミが多く捨てられていて、街が汚いです。
- ・近所の方が猫を放し飼いにしており、庭にふんをして困っています。
- ・指定ゴミ捨て場にごみの不法投棄が増えてきて不安なので対策をしてほしい。

- ・今まで10か所以上住みましたが、その中で最も素敵な街です。愛知県No.1 といっても過言ではないでしょう。浄水だけで縮こまることなく、四郷などの地域との連携も考えてほしい。

- ・高齢化が進んでいるため、歩道の整備など進めていただきたい。駅周辺ばかりではなく。
- ・緊急時につけられる仕組みが必要。配偶者も高齢のため、すぐに動けないので、近所に助けを求められるようにできると良い。

- ・病院職員や学生など、若年であまり地域との交流が無い住民が多いですが、頑張ってください。

- ・便利になりましたが、自然が破壊され草地や雑木林が消えていくと同時に、小動物・小鳥などの姿を見ることができなくなったことに、気づきませんか？きれいな街、整備された町、にとらわれず、残った自然（雑草や雑木林）を貴重な財産として、大切にしてほしいです。残してほしいです。
- ・浄水地域をきれいな街にしたいです。定期的に地域の皆さんで清掃を実施するのはどうでしょうか？近所の人を助け合うには、日頃のコミュニケーションが大事だと思います。何か、距離が縮まる行事やイベントがあるといいと感じます。

- ・現在子どもが多い地域になっているので、もう少し子どもがいろいろなことを体験できるようなことがあればいいと思います。施設がたくさんある地域なので、ボランティア体験など。

- ・浄水区民会館の交差点に横断信号が無いので、つけてください。浄水全体に街灯、歩行者街灯が少なすぎるため、つけてください。事件・事故が起きてからでは遅いし、取り返しつきません。

- ・働くママさんへの充実したサポート希望。

- ・子育て中のママさん、⇄子育てを一段落したママさんとの交流があると良いと思います。実家が遠く、母などに相談しにくいママさんにとって「大丈夫よ」と声を掛けてもらえる存在は大きいと思います。

- ・住民間の交流が深まるイベントを企画してほしい。

- ・地域的に年齢幅も広く、またいろいろな国籍、出身地の人がいるところだと思うので、その様な人たちが交流できるようなイベントを開催する事で同じ“浄水”に住む人たちの交流が広がっていくと思う。

- ・浄水地域に住む中高生も増えていく中、お互いにあいさつをし合い、治安の良い地域になると良い、と思います。

<ul style="list-style-type: none"> ・共働きが当たり前になりつつあり、昔からの様な地域ボランティア人員確保が（←もっと払ってもいいくらいの対応をされています。）難しく交流活動が衰退しているような気がします。（地域ボランティア→）有償に金額をもう少し上げれば、高齢でもまだまだ活躍できる方や、子供の為、思うように働きに出れない女性ももっと交流に前向きになり、心も懐も暖まり地域の活性化にもダブル効果で繋がるのではと感じます。
<ul style="list-style-type: none"> ・回覧板の回転速度が遅い ・回覧板は絶対に目を通すのでそれに子供からお年寄りの人までいろんな人に“何がしてみたいか”“何かをやってみたい”等を書いてもらって自治区ごとでもいいから出来そうな事やらやってみてはどうでしょうか？
<ul style="list-style-type: none"> ・区費の支払いを銀行口座からの自動引落しにしてほしい。区費集めが地味につらい。 ・区費が高い（名古屋市は400円程度です）。 ・区民会館の使用料が高いと思います。部屋が空いているくらいなら、安くして使ってもらったほうが良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・浄水地域をぐるっと回る無料のバス等があると車に乗れない人も動けると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・多世代に受ける行事・イベントを多く催し（マルシェ、親子参加型のもの）交流の場を通して顔の見える関係作りができると良い。 ・浄水駅の空き地の利用を考えていくと活性化につながると思う。例：産直販売やフリーマーケット、ワゴン販売、トラックワゴンなど。
<ul style="list-style-type: none"> ・昔からいる方々のつながりが強いのは仕方ありませんが、夏祭りの手伝いをした時、青年会や自治区の方ばかり優遇されていて、その他の方は疎外感を感じていました。あれでは新しい方は入っていきません。いろいろなことに協力する気がうせてしまいました・・・。 ・マンションに一人暮らしのため、なかなか地域に入っていくことができない状態です。地域の人と移り住んできた人との垣根が低くなる取組や情報が必要です。会社勤めで平日参加できない人に対しても、土日に参加できる人や、独身者に対しても楽しめるまちづくりをもっとしてほしいと思います。 ・新しく浄水地域で住み始めた人たちが臆することなく中へ入っていけるような街であればうれしく思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・近所のお友達の話でよく出るのですが、ご年配の方々が古くからの考えや決められたことにこだわっていらっしゃるので、新しいことも受け入れていってくださるとより良い方向へ進めるのかな・・・と思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・交流館祭は、若い世代が増え毎年楽しみにしてます。
<ul style="list-style-type: none"> ・浄水地区のブランディングがもっと必要。ビジョンを出して、そこにあったまちづくり、企業・店舗の誘致をしたほうが良い。地区の価値をもっと高めたほうが良い。継続して若い世代が住み続けるための街づくりをもっと考えたほうが良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化、交通安全立哨など、自治会行事の不参加者はいつも決まっている。強制参加の方法を検討すべきでは？
<ul style="list-style-type: none"> ・防災無線が聞き取れません

